

令和4年度 第4回 東小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年2月13日（月） 午前9時から午後10時50分まで
- 2 開催場所 東小学校 1階 会議室
- 3 出席委員 高木 邦子、小名木 秀雄、松下 克幸、今中 秀裕、中川 清子、  
中村 将義、杉山 晴康、大脇 加名、竹山 有希
- 4 欠席委員 古橋 陽介
- 5 学 校 大石 泰三（校長）、杉山 章子（教頭）、  
船越 裕康（CS担当教職員）、伊藤 リカ（CSディレクター）
- 6 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項

（1）学年評価結果、考察・次年度改善点について

■評価結果（船越）

■考察・次年度改善点（船越）

■熟議

（2）学校運営協議会の自己評価について

■承認

（3）次年度学校運営の基本方針について

■説明（校長）

■熟議

■浜松市立東小学校いじめ防止基本方針（改訂版）の説明（校長）

■承認

- 9 会議録作成者 CSディレクター 伊藤 リカ

10 会議記録

司会のCS担当職員から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）次年度学校運営の改善点について

■評価結果（船越）

- やってみたい・挨拶・返事 → 数値的には向上。具体的な手立てが活きていると考える。
- 思いやり・やさしさ・落ち着いた生活 → 落ち着いた生活の評価が低いため、来年度も重点を置く予定。
- あきらめず運動 → コロナ禍でも目標をもって達成。
- 課題発見・主体性・振り返り → 向上している。継続していく予定。

以上の通りであり、学校の情報公開は継続して行っていく。

■考察・次年度改善点（船越）

- 家庭学習について：具体的な方法については検討中。子供たちが決めて自主的に取り組む体制を考えている。
- タブレット：毎日の持ち帰りについて、保護者の理解を求めていく。そのため、家庭でも積極的に活用する手立てを考えていく。
- 挨拶：学年に応じた指導を行う。時と場を考えた挨拶ができるよう、低・中・高学年に分けて目標を設定し、指導を行っていく。
- 優しい子：ピア・サポート活動を取り入れ、ソーシャルスキルの向上を図る。
- 落ち着いた生活：校内でのけがの防止につなげる。
- 心と体の健康：気持ちのコントロールが可能になれば、落ち着いた生活につながると考える。成長段階に応じて指導していく予定。具体的な取り組みは部会で検討中。
- スポーツ大会：来年度は全校児童で開催予定。

#### ■熟議

中村議長から、委員に意見を求めたところ、以下の発言があった。

- ・ 学校評価項目である『落ち着いた生活をしている』は前期後期ともに十分な実現に至っておらず、けがの発生につながっている。どのような取り組みが改善につながるか考えたい。(中村委員)
- ・ 以前、高山市の子たちとの交流を行ったことがある。交流を通して感じたことは、東小の子供たちは自律心と体幹が弱い。そのため、けがをなくす取り組みよりも、体を強くする取り組みが必要なのではないか。これは、けがの防止、ひいては心の強さ・優しさにつながるのではないか。(松下委員)
- ・ 状況は不明であるが、体幹をしっかりさせておくことや自律心を育てることによって落ち着いた生活を送ることが出来るようになり、けがの防止につながると思う。後期のほうが教師の評価が下がっていることはなぜか。(今中委員)
- ・ 教師は安全を第一に考えているため、どうしても評価が厳しくなってしまう。(船越)
- ・ 件数だけでは比較できない面もある。昨年と比べるとけがの件数が増加している。(教頭)
- ・ けがをしてはいけないのかを考えたい。(杉山委員)
- ・ 東小のけがの件数は学校規模の割には多いと感じる。やっていいけがとやっていけないけががあり、やってはいけないけがは、子供たちの生活行動であり、その部分が多いと感じる。(校長)
- ・ 自分自身でできたけがは自己責任だと思う。また、そこから学ぶのではないだろうか。問題は他人にけがをさせたとき。(杉山委員)
- ・ けがの内容と原因が大切。走らなくてもよい原因をつぶすため、原因の累計化をしてみてもどうか。(今中委員)
- ・ 廊下を走らない指導として、事故現場を子どもたちに自覚をさせるため、子どもたち自身で検証させるのが良いのではないか。身近なものとして危機感を持つと思う。(高木委員)
- ・ 事故の検証を行うためには、情報の共有が必要であると思うが、けがの情報の取扱いに対してはどのように対応すべきか考えたい。(中村委員)
- ・ 放課後児童会では、現状、けがの情報はなるべく出していない。放課後児童会でも当事者とは密に連絡を取り合うが、けがをしたことはうれしい事ではないため、子どもたちにも

あまり言わないようにと指導している。(中川委員)

- ・ 治らないようなけがは気を付けなくてはいいけないが、治るけがに対してはつきものであるため、けがをなくそうとするのではなく、けがをしないような体作りが必要なのではないか。また、事故が起きた現場にマークを設置して注意を促すことは良いと思う。(松下委員)
- ・ けがの情報の取り扱いも今の時代では難しいと思うが、共有し、けが防止に役立てると良いと考える。(中村委員)

## (2) 学校運営協議会の自己評価について

### ■承認

小名木会長より提案があり、全員異議なくこれを承認した。

## (3) 次年度学校運営の基本方針について

### ■説明(校長)

- 学校教育目標…継続して『やさしさ 元気 夢いっぱい』を目標とし、知・徳・体を高める。学校生活での様々な人との活動を通していきたい。いじめはどこでも起こりうるというスタンスで、心理的安全性が感じられる教室を目指す。社会と将来につながる、主体的に学べるような学習を行う。教科担任制については専門性を活かすため、やれる範囲で行う。また、教科担任制は教師にとっても教材研究につながる。コミュニティスクールは子供の成長のための取り組み。
- タブレットの使用…教科活動を効率的に行うため継続していく。情報モラルを指導しながらメリハリのある活用の仕方を考える。保護者には、学校の理解を深めるため、学級での活動のみではなく、いろいろな活動場面についてブログ等で情報を発信する。教員の職務効率化は、心にゆとりが生まれ、子供との接する時間が増えると考ええる。
- 学校目標『優しい子』…見つめる力・かかわる力の育成を継続する。具体的には、相手の顔を見て、時と場を考えたあいさつを行えるよう、取り組む。また、互いの個性を認め合う・協力し合うよう指導を継続していく。心と体はつながっているため、学校と家庭で連携させながら育てていきたい。まず、相手の話を最後まで聞くことは認め合うことにつながると考える。
- グランドデザイン…高学年に向けて発達状況に応じた3つの段階に分けて指導していく。

### ■熟議

- ・ コロナにより、人との交流が希薄になり、上下関係のつながりがなくなっているという報道がある。これは、高学年の自律心の成長ができていない理由ではないか。また、いじめにたいしてはどのように対応するかを考えたい。(中村委員)
- ・ 高学年の自律心がなくなっている中で、ピア・サポートの取り組みはとても良いと思う。教室では子供たちに自発的に考えさせて行うのが良いのではないか。(今中委員)
- ・ 子どもの対人スキル不足が原因のトラブルも多いため、ピア・サポート活動の年間計画を立て、水曜の朝に活動を行う事に決定した。(校長)
- ・ いじめはある。昔でいえば、けんかでも、相手が傷つけばいじめとなる。しかし、全く学

校に来ることができないという子は3学期に入ってからはいない。短時間でも学校には来ることができるようになってきている。基本方針が大きく変更になったため、見直しを行った。  
(校長)

- ・ タブレットの持ち帰りについて聞きたい。学校のタブレットではゲームやインターネットはできるのだろうか。(今中委員)
- ・ ある程度はできるが、フィルターがかかっている。(校長)
- ・ パソコンスキルの差によって取り残されるような子はいないのだろうか。(今中委員)
- ・ 授業では、主に意見の共有や交流を行っている。特に、パソコンスキルの差は見られない。  
(船越)
- ・ 保護者からパソコンは重いから持ち帰りはやめてほしいと意見があるが、その背景には家で活用をしていないことが考えられる。パソコンは楽をするためのものであるため、家のパソコンで対応が可能であれば、高学年からは家のパソコンで対応してもよいのではないか。(高木委員)
- ・ 身体的負担が問題にはなっているため、検討中。家にあるパソコンはID・PWの取り扱いが生徒個人で行っているため、対策を講じながらやっていきたい。(校長)
- ・ システムの相談窓口を利用すれば解決につながると思う。(中村委員)

#### ■承認

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

#### ■浜松市立東小学校いじめ防止基本方針（改訂版）の説明（校長）

- 子供の健やかな成長を願って家庭との連携を図り指導を行っていく。
- 毎月1度、事案が起こった場合は臨時で動く
- いじめの未然防止のため、道徳の時間にいじめについて考える
- ソーシャルワーカーは毎日活用
- 重大事態は適切に対応する
- 浜松市立東小学校いじめ防止基本方針（改訂版）はHPに掲載

#### ○ その他

- 来年度の学校運営協議会第3回は1か月前倒しで行う。
- 年間4回のクラブ活動で行っていた囲碁の講師を新たにお問い合わせするよう働いている。

司会から、次回会議は、令和5年5月15日（月）午前9時00分から東小学校会議室で開催する旨の報告があった。